

障害者の虐待記事を読んで ～本人・家族のご意見・ご感想～

虐待の記事を最初から最後まで読みました。読んでいるうちにイライラしました。僕たちは、ゆたかの里は、そんな虐待などありません。みんながいいので悩みや相談など聞いてくれる人がいます。やさしい、思いやりのあるスタッフがいるから、いじめや虐待はありません。障害者の虐待記事を読んでの、所員の意見や感想が聞きたいです。(本人)

先日の新聞記事を読んで、人として行ってはならないことをし、何も抵抗できない人になされた行為、知っていて見ぬふりした行為、近頃のニュースによく取り上げられる人の痛みのわからない人間性に問題あつてのできごとではないでしょうか。しかし、無視だって虐待ですから、自分自身も考えさせられた事件でした。手のかかる子どもを預けています。ゆたか、サンガーデンの基本方針を信じ、ただここならばと思って預けた施設、楽しく生活できれば充分です。また、保護者も託すばかりでなく、お互い支え合い、目をかけ、愛情をかけ、見守り、誰もが納得のいく施設へ発展されることを願っています。

先月、他の施設で発生した事件に対する全職員の方々の感想文を読ませていただきました。施設長を始めとして、全職員の方々が、利用者に対して、毎日愛情をいっぱい持って接せられていることが読み取られて、大変感謝する次第です。我が子は、サンガーデンに着いて車から降りるとき、手をピンと伸ばして全身で喜びを表し、その姿を見て楽しく生活していることが伺えます。我が子は、言葉によって職員の方々に感謝の意を表すことはできませんが、表情によって感謝の意を表していると思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。

「障害者虐待事件」が起こらないように、施設長はじめ、スタッフの皆さんが、平素から努力されていることに敬意を表します。政府による重度障害者に割り当てる職員数の削減措置からして、誠実な職員でも、その努力の限度があるように思います。もしそうであるならば、施設関係者や保護者が連携して、政府や県に改善を求めなければならないように思います。

ゆたかの里のスタッフの皆さんが、今度の記事でびっくりされ、残念に思われ、ゆたかの里では考えられないと言われ安心しました。私も、子どもが一日も休まず、毎日通所を楽しみにしていますので、感謝しています。自分の気持ちをはっきり言えない障害者を相手にの毎日毎日ですので、親もスタッフも所員も、相

手のことを思いながら、前進していかなければと思います。ゆたかの里は、スタッフの皆さんが少し頑張りすぎているのでは？とも思います。ありがたいことですが、親と所員とスタッフのバランスがとれた楽しいゆたかの里が続きますようにと祈ります。

障害者も一人の人間です。何もわからないからと思って虐待など、心のやさしい人間ではありません。このような人は、支援員失格です。虐待などとんでもないです。障害を持つ親は、みな、その子が一番かわいいのです。その気持ちはみな同じ思いです。親は、支援員さんたちを信頼して安心して預けております。親が安心して預けられるように、皆さんお願いします。

近隣の施設で、障害者虐待が連日トップ記事で報道されていることを知り、まさかと大きな驚きを受けました。最近の特集記事では、施設の非難だけではなく、行政の指導怠慢が指摘されていました。言葉がなく、対応困難な重度障害者が虐待の標的にされていたことに、我が子のことが重なって、やりきれない怒りと悲しみでいっぱいでした。どんな障害者でも、人間としての尊厳を損なうことのないよう、家族と施設、行政、地域社会が連携して、サポートしていくことが重要ではないでしょうか。

職員の皆さんの感想文の感想を言わせてもらえば、職員一人ひとりの虐待防止に対する努力と、利用者に対する熱い思いが伝わってきます。障害者を持つ一人の親として、この施設が利用者にとって本当に居心地の良い場所になるよう願っています。

“虐待”はあってはならないこと、このことは誰でも頭の中や心では理解していることと思います。日常生活の場で、危険を理解させるために口で言ってもわからないときに手をたたいたり、ひっぱったりと、体罰のつもりはなくても、しつけのために親でも手を出してしまうことがあります。このような子を思う行いでも、行き過ぎれば“虐待”になってしまいます。愛情があっても許されることではありません。今回の事件で、一番切なかったのは、我が子の身体に“虐待”された傷あとを見つけても、追い出されることを恐れて抗議できなかった親の情けない姿です。自分の愛する子を守り通してやれなかった親にもいきどおりを感じます。“虐待”した施設に、また行きたくないと抵抗したことだろうと思います。たぶん、親に説得され、なだめられ、怒られ、しぶしぶ戻っていったんだろうなと思います。施設に戻っていくときの子どもの気持ちを考えるといたたまれない気がします。

私も記事やニュースを知ってすごくショックでした。私の娘も言葉は発しますが、思い通りにならないと

すぐにパニックを起こしたり、食事も遅かったり、何事にも動作がゆっくりなので、日頃からスタッフの方のお世話になりっぱなしなので…。でも、一番に現在のところ、本人がゆたかやサンガーデンに行くことをすごく楽しみにしていること、絶対に「行きたくない!!」って言わないことが、今の皆さん方の接していただいている状況を表しているのだ！と思い、信じています。これからも私達が安心して預けられる場をずっと続けていただきたいと願っています。

昔、施設等のない時代、障害者がいると家の中でひっそりと育てられていたと思います。今、福祉のおかげで、入所、通所施設が利用できるようになりましたが、施設に預けた子どもが虐待されても家に連れて帰ろうとしない親に怒りを感じました。スタッフ全員の意見に目を通した後、私達親の気持ちと同じでしたので、とても安心しました。ゆたかの里で良かったです。

まずは、この事件に対し、いち早く問題提起していただきました施設長へお礼申し上げます。職員の方一人ひとりの文章を読み、志の高さにより信頼を深めることができました。と同時に、こうして情報を公開することの大切さは、虐待を防ぐ基本かと思えます。日頃より職員さんは多くのストレスにさらされていることとお察しします。もちろん上手に対処されていることとは思いますが、さらなる職員間での気持ちの共有を進められ、部長、施設長は、いつでも職員の気持ちを受けとめる体制にあることを願っています。それは、職員さんの無気力防止にもつながることと思えます。今回のことで、親である私も、子どもを一人の人間としてどこまで尊重できているのだろうと改めて振り返ることができました。最後に、障害の重い人も軽いと言われる人も、サービスを自由に選択でき、生きててよかったと実感できる世の中になるよう願ってやみません。

私達も「ちょっと待て」と言う人がいないことは残念と思います。「ちょっと待て」と言う人がいたら、こんなことにならないと思います。私だったら、言っています。たぶん、私は、絶対にそんな人は許せません。